

日時 平成23年 8月29日(月)
13:00~17:45

会場 日本学術会議講堂

東京メトロ千代田線「乃木坂駅」5番出口徒歩1分
(東京都港区六本木7-2 2-3 4)



学術フォーラム

生命科学の進展に伴う

新たなリスクと科学者の役割

【参加費無料】 定員300名※定員に達し次第締め切ります。

プログラム

【開会あいさつ】 13:00~13:15

広渡 清吾 日本学術会議会長/専修大学法学部教授

【基調講演】 13:15~14:30

吉倉 廣 日本学術会議連携会員/国立感染研究所名誉所員

マルコム・ダンドー ブラッドフォード大学教授

【セッションI：最近の生命科学の進展と新たなリスク】 14:30~15:30

コーディネーター：春日 文子 日本学術会議会員/国立医薬品食品衛生研究所食品衛生管理部室長

報告者1：小安 重夫 慶應義塾大学医学部教授

報告者2：今給黎 学 外務省生物・化学兵器禁止条約室長

報告者3：山村 雅幸 東京工業大学大学院総合理工学研究科教授

質疑・討論

【セッションII：我が国での取組みと今後の課題】 15:45~16:45

コーディネーター：四ノ宮成祥 防衛医科大学校教授

報告者1：山田 憲彦 航空幕僚監部首席衛生官/前防衛医科大学校防衛医学講座教授

報告者2：加藤 和人 京大大学人文科学研究所/京都大学大学院生命科学科研究科准教授

報告者3：渋谷 健司 東京大学大学院医学系研究科教授

質疑・討論

【全体討論】 16:45~17:30

【開会あいさつ】 17:30~17:45

唐木 英明 日本学術会議副会長/東京大学名誉教授

開催主旨

近年の生命科学の進展を踏まえれば、研究者が意図していなくとも、研究遂行上の不注意等により、生命科学の知見や技術が社会に危険をもたらしたり、軍事利用されるような事態が発生することが想定されます。

こうした事態の発生を避けるために、生命科学分野の専門家による議論を行い、理解を深めるとともに、科学者の役割について考えます。

主催 日本学術会議

協力 外務省、防衛省

後援 文部科学省
厚生労働省（予定）
（独）科学技術振興機構（予定）
（財）バイオインダストリー協会（予定）

<お申込み・お問い合わせ先> 申込フォーム(<https://form.cao.go.jp/scj/opinion-0003.html>)

日本学術会議事務局企画課公開講演会担当 TEL:03-3403-6295/FAX:03-3403-1260